

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2021年12月24日

ＰＦＩ事業向けプロジェクトファイナンスの組成について ～出雲市新体育館整備運営事業～

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）は、出雲市が実施するＰＦＩ※¹事業「出雲市新体育館整備運営事業（以下、「本事業」）」の事業主体である出雲アリーナパートナーズ株式会社（代表取締役 森本 禎之）に対し、当行を主幹事とした地域金融機関との協調によるシンジケーション方式のプロジェクトファイナンスを組成しましたので下記の通りお知らせします。

本事業は、建設から50年以上が経過し、耐震性、安全性等に問題のある3体育館（出雲体育館、平田体育館、斐川第2体育館）の廃止に伴い、市民が気軽にスポーツや体力づくりができ、市大会等が開催できる市民の新たなスポーツ活動の場を確保するとともに、17万人都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点となる新体育館を整備する事業です。

また、本事業は、ＰＦＩ手法（ＢＴＯ方式※²）により民間事業者の創意工夫やノウハウを活用することで、新体育館の施設整備・維持管理・運営においてより質の高い公共サービスを提供することや、市の財政負担を軽減することを目的としています。

当行は、1999年のＰＦＩ法の施行時より、当地のリーディングバンクとして継続的にセミナーの開催や個別案件に対する金融支援を実施するなど、長年山陰地域でのＰＦＩの普及・発展に努めてまいりました。また、2018年からは国土交通省と「PPP※³協定」を締結し、同省と連携することで、より一層山陰地域でのPPP／ＰＦＩ案件の創出及び形成促進に尽力しております。引き続き、社会資本整備という公共性の極めて高いＰＦＩ事業に対し、これまで蓄積した知見を活かし、様々な支援を行うことで、地域経済の活性化を通じた地方創生の実現に貢献してまいります。

- ※1 PFI (Private-Finance-Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)
公共施設等の建設、維持管理、運営等を、民間事業者の経営ノウハウ及び技術的能力、資金等を活用して行う手法。
- ※2 BTO方式
SPC (特別目的会社) が本施設の設計、建設 (Build) を行った後、市に所有権を移転 (Transfer) し、事業期間終了までの間、SPCが本施設の維持管理・運営 (Operate) を行う方式。
- ※3 PPP (Public-Private-Partnership : パブリック・プライベート・パートナーシップ)
行政主体による公共サービスを、行政と多様な構成主体との連携により提供していく考え方。
民間委託、PFI、指定管理者制度、民営化、地域協働、産学官連携等を含めた官民連携手法の総称。



記

1. 融資概要

- (1) 借入人：出雲アリーナパートナーズ株式会社
- (2) アレンジャー：当行
- (3) エージェント：当行
- (4) 参加金融機関：島根中央信用金庫
- (5) 融資総額：建設期間中のローン1,561百万円、完工後のローン771百万円
- (6) 契約形態：優先貸出契約（コミットメント期間付タームローン）
- (7) 契約締結日：2021年12月24日

2. 事業概要

- (1) 事業名称：出雲市新体育館整備運営事業
- (2) 発注者：出雲市
- (3) 事業者：出雲アリーナパートナーズ株式会社
＜以下の構成企業の出資により設立されたSPC＞
鹿島建設株式会社（東京都）※代表企業
（以下、五十音順）
株式会社梓設計（東京都）
今岡工業株式会社（島根県）
NEC キャピタルソリューション株式会社（東京都）
合人社エンジニアリング株式会社（広島県）
株式会社合人社計画研究所（広島県）
株式会社コンベンションリンケージ（東京都）
美津濃株式会社（東京都）

3. 完成イメージ



画像提供：株式会社梓設計

以上